

令和4年度 内部質保証による自己点検・評価報告書

令和5年9月



北見工業大学

令和4年度 内部質保証による自己点検・評価の実施概要

【内部質保証とは】

大学が自立的な組織として、その使命や目的を実現するために、自ら教育研究活動等の状況について継続的に点検及び評価を行い、その結果を改善につなげることにより、質を維持し向上を図る仕組みを指す。

【点検・評価とは】

一定期間における本学の諸活動の状況について、客観的根拠に基づいて検証し、その結果を示す。

【自己点検・評価の実施方法・対象】

「北見工業大学における内部質保証に関する要項」に基づき、要項に定める責任体制において、恒常的かつ継続的に自己点検・評価を実施する。

【根拠規定等】

- ・北見工業大学における内部質保証に関する要項
- ・運営戦略会議における内部質保証に関する取扱いについて(申合せ)

【令和4年度 自己点検・評価の実施状況】

上記、根拠規定等に定める要項に基づき、「教育課程」、「施設設備、学生支援及び学生受入」の区分により、それぞれの内部質保証を担当する責任者のもと自己点検・評価を実施し、担当する委員会において確認を行った。その結果については、内部質保証に関する自己点検・評価の責任者である大学評価室長に報告し、大学評価室会議において実施状況や改善事項について確認・検証を行った。

令和4年度 内部質保証による自己点検・評価の結果

【教育課程に関する点検・評価】

○自己点検・評価項目

- ・ 学位授与方針が具体的かつ明確であること
- ・ 教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること
- ・ 教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること
- ・ 学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること
- ・ 学位授与方針に則して適切な履修指導、支援が行われていること
- ・ 教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
- ・ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業（修了）判定が実施されていること
- ・ 大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること

○自己点検・評価の結果(総括)

- ・ 自己点検・評価の結果、全て適切に実施していることを確認した。
※詳細については、別紙「点検結果表」のとおり

○特記事項

- ・ 文部科学省の「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル及び応用基礎レベル）」に認定されており、低学年で基礎から応用までの知識を習得できる体制を整備している。応用基礎レベルのプログラムを2年次までに全員が履修可能な大学は全国的にも希少である。

○改善すべき点

- ・ 今回の点検・評価項目については、改善が必要な事項はないが、今後も点検・評価項目の見直し、継続的なモニタリング及び点検・評価を推進する。

【施設設備、学生支援及び学生受入に関する点検・評価】

○自己点検・評価項目

- ・教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること
- ・学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること
- ・学生受入方針が明確に定められていること
- ・学生の受入が適切に実施されていること
- ・実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること

○自己点検・評価の結果(総括)

- ・自己点検・評価の結果、概ね適切に実施していることを確認した。
※詳細については、別紙「点検結果表」のとおり

○特記事項

- ・新型コロナウイルス感染症等により経済的に困窮した学生への支援として、北見工業大学フードバンク実行委員会を組織し、本学同窓会、後援会及び地域団体の協賛・協力を受けフードバンクを開催し、経済困窮度の高い学生に対し、食の支援を行っている。
- ・就職支援の充実に資することを目的とし、採用活動の早期化に対応するため、ガイダンスを例年の5月から4月へ前倒しするとともに、実施回数を増加させた。これらの取組の結果インターシップ参加者数は2年連続で増加している。

○改善すべき点

- ・アドミッションポリシーにおいて、「学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等の能力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」を含め、各選抜における評価方法の比重についての記載を追加する必要がある。
(令和6年度までに改定予定)

令和5年度「北見工業大学における内部質保証に関する要項」に基づく点検結果表

教育課程に関する基準

基準		認証評価番号	分析項目	点検結果	点検結果の根拠	基準を満たしていないと判断した事項の改善計画	改善計画実施状況	担当
基準1	学位授与方針が具体的かつ明確であること	6-1-1	学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	基準を満たしている	学生の進路先等社会における顕在・潜在ニーズ、学習の目標、学習成果を踏まえた具体的な学位授与方針がディプロマポリシーに明記されていることを確認した。			教務課
基準2	教育課程方針が、学位授与方針と整合的であること	6-2-1	教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が解り易いように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	基準を満たしている	カリキュラムポリシーにおいて、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針についてが明示されていることを確認した。			教務課
		6-2-2	教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	基準を満たしている	カリキュラムポリシーに記載された教育課程の編成及び実施の内容が、ディプロマポリシーにおいて獲得が期待される能力を学生が獲得できるものとなっているかを確認できるだけの整合性を有していることを確認した。			教務課
基準3	教育課程の編成及び授業科目の内容が、学位授与方針及び教育課程方針に則して、体系的であり相応しい水準であること	6-3-1	教育課程の編成が、体系的を有していること	基準を満たしている	科目ナンバリング、分野別関連科目マップ、履修モデル等の内容から、教養教育及び専門教育のバランス、必修科目・選択科目等の配当等、教育課程方針に基づき授業科目を配置し、教育課程の体系的を確保していることを確認した。			教務課
		6-3-2	授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	基準を満たしている	「シラバス作成のためのガイドライン」に基づき各授業科目のシラバスを検証し、一単位の授業科目を45時間の学習を必要とする内容をもって構成する原則を踏まえて科目の内容が設定されていることを確認した。			教務課
		6-3-3	他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること	基準を満たしている	他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定について、法令に従い「学則」等で定められていることを確認した。			教務課
		6-3-4	大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	基準を満たしている	学位論文の作成等に係る指導に関して、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することを「学位論文審査取扱要領」等において定めており、計画に基づいた指導が実施（研究倫理に関する教育・指導を含む。）されていることを確認した。 また、複数教員による指導体制、研究テーマ決定に対する指導、年間研究指導計画の作成・活用、中間発表会の開催、国内外の学会への参加促進、他大学や産業界との連携、T・A・R・Aとしての活動を通じた教育・研究能力の育成等、教育の目的や研究指導の基本方針等に照らして、研究指導に対する取組が行われていることについても確認した。			教務課

基準	認証評価番号	分析項目	点検結果	点検結果の根拠	基準を満たしていないと判断した事項の改善計画	改善計画実施状況	担当
基準 4	学位授与方針及び教育課程方針に則して、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること	6-4-1	1年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること	基準を満たしている	1年間の授業を行う期間が、定期試験等の期間を含め、35週確保されていることを「学事日程」等で確認した。		教務課
		6-4-2	各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	基準を満たしている	各授業科目のシラバスが「シラバス作成のためのガイドライン」に基づいて作成されており、10週又は15週にわたる授業期間を単位として行われていることを確認するとともに、異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要及び10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果を上げていることを確認した。		教務課
		6-4-3	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	基準を満たしている	各授業科目のシラバスが「シラバス作成のためのガイドライン」に基づいて作成されており、授業名、担当教員名、授業の目的・到達目標、授業形態、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記載されているとともに、学生が各授業科目の準備学習を進めるための基本となるものとして、全科目、全項目について記入されていることを確認した。 なお、すべてのシラバスは、学生に対して、ウェブサイトへの掲載により周知を図っている。		教務課
		6-4-4	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	基準を満たしている	教育上主要と認める授業科目の定義を確認のうえ、シラバスを検証し、教育上主要と認めるすべての授業科目について、専任の教授又は准教授が担当していることを確認した。		教務課
基準 5	学位授与方針に則して適切な履修指導、支援が行われていること	6-5-1	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	基準を満たしている	ガイダンス、担任制、学習成果の状況の組織的把握と対応、学習計画の指導、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導、助言等が行われていることを確認した。 また、国内外の他大学との単位互換・交換留学制度の実施状況を確認した。		教務課
		6-5-2	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	基準を満たしている	キャリアアップ支援センターにおける進路選択支援室及びジョブカフェ及びハローワークのキャリアアドバイザーへの相談件数を確認した。 また、全教員がオフィスアワーの時間帯を設定しており、学習相談に応じている。		学生支援課
		6-5-3	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	基準を満たしている	インターンシップ実施状況及び工学部、博士前期課程、博士後期課程における実施要領を確認した。		学生支援課
		6-5-4	障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること	基準を満たしている	障がいのある学生等について修学上特別支援を要する学生に対する配慮に関して、障がい学生支援会議における会議資料により支援体制を整えていることを確認した。 留学生にチューターを配置し、学習支援等を行っていることを確認した。		研究協力課 学生支援課

基準	認証評価番号	分析項目	点検結果	点検結果の根拠	基準を満たしていないと判断した事項の改善計画	改善計画実施状況	担当
基準 6	教育課程方針に則して、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	6-6-1	成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	基準を満たしている	評語を適用する際の科目の到達目標を考慮した判断の基準について、組織として定めていることを確認した。		教務課
		6-6-2	成績評価基準を学生に周知していること	基準を満たしている	学生に対して、学生便覧の配布・シラバスのウェブサイトへの掲載等の方法により周知を図っていることを確認した。		教務課
		6-6-3	成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	基準を満たしている	学修の質を明確化させるためにGPA制度を実施し、コース配属、修学指導等に活用していることを確認した。 また、「成績評価ガイドライン」において成績評価分布の目標値を策定し、科目ジャンル別GPA値の分布や「秀」の割合に基づいて成績評価の分布の点検を組織的に実施していることを確認した。		教務課
		6-6-4	成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	基準を満たしている	成績に関する異議が生じた場合の手続きを学生便覧で学生に公表し、受け付ける窓口で教務課を定めていることを確認した。 また、「成績評価ガイドライン」において、成績評価の根拠となる資料が検証できるよう保管期限を定めていることを確認した。		教務課
基準 7	大学等の目的及び学位授与方針に則して、公正な卒業(修了)判定が実施されていること	6-7-1	大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件(以下「卒業(修了)要件」という。)を組織的に策定していること	基準を満たしている	大学が定める卒業(修了)要件が組織的に策定され、大学設置基準等が定める要件と整合的であることを確認した。		教務課
		6-7-2	大学院教育課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準(以下「学位論文審査基準」という。)を組織として策定されていること	基準を満たしている	審査に係る手続き及び評価の基準として、学位論文審査基準が組織として策定されていることを確認した。		教務課
		6-7-3	策定した卒業(修了)要件(学位論文評価基準を含む)を学生に周知していること	基準を満たしている	卒業(修了)要件を、学生に対して、学生便覧の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により周知を図っていることを確認した。		教務課
		6-7-4	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文評価基準を含む)に則して組織的に実施していること	基準を満たしている	《学士課程》 卒業要件を適用する手順のとおりを実施されていることを確認した。 《大学院課程》 修了の判定について、修了要件を適用する手順のとおりに実施されていることを確認した。 学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に関して、手順どおりを実施されていることを確認した。		教務課

基準		認証評価番号	分析項目	点検結果	点検結果の根拠	基準を満たしていないと判断した事項の改善計画	改善計画実施状況	担当
基準 8	大学等の目的及び学位授与方針に則して、適切な学習成果が得られていること	6-8-1	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	基準を満たしている	過去5年における標準修業年限内の卒業（修了）率、「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得率の状況を検証し、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあることを確認した。			教務課
		6-8-2	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学（進学希望者に対する進学者の割合）が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	基準を満たしている	令和4年度の就職希望者に対する就職者の割合が95.4%、進学希望者に対する進学者の割合が99.3%となっている。また、工学部で学んだ知識等を活かすことによる製造業や情報通信業、建設業への就職が多くなっていることから基準を満たしていることを確認した。			学生支援課
		6-8-3	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	基準を満たしている	卒業（修了）学生を対象とした学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査等、意見聴取の結果等から判断して、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていることを確認した。			教務課
		6-8-4	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	基準を満たしている	令和2年度卒業（修了）生を対象としたアンケートにおいて、本学ディプロマポリシーで定めた素養や能力に関する修得状況の卒業（修了）生自身による自己評価の平均が5段階で3以上の水準であり、基準を満たしていることを確認した。			学生支援課
		6-8-5	就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	基準を満たしている	令和2年度卒業（修了）生を対象としたアンケートにおける本学ディプロマポリシーで定めた素養や能力に関する修得状況に関して、卒業（修了）生自身の自己評価より企業による学生の評価の方が全ての項目で高い。また、平成30年度卒業（修了）生を対象とした同アンケートの結果と比べても企業の評価が高くなっている。なお、令和4年度合同企業研究会の企業アンケートにおいても、本学卒業（修了）生が基礎学力等の能力を有していると回答した企業が8割を超えており、基準を満たしていることを確認した。			学生支援課

令和5年度「北見工業大学における内部質保証に関する要項」に基づく点検結果表

施設設備、学生支援及び学生受入に関する基準

基準	認証評価番号	分析項目	点検結果	点検結果の根拠	基準を満たしていないと判断した事項の改善計画	改善計画実施状況	担当
基準 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること	4-1-1	教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること	基準を満たしている	・別紙施設・設備の共通基礎データから校舎敷地面積及び校舎面積について基準面積以上であることを確認した。 ・その他図書館、体育館等が設置されていることを確認した。			施設管理室
	4-1-2	法令が定める実習施設等が設置されていること	基準を満たしている	・別紙様式4-1-2から、ものづくりセンターが設置されていることを確認した。			施設管理室
	4-1-3	施設・設備における安全性について、配慮していること	基準を満たしている	・キャンパスマスタープラン及び同追補版から耐震性の低い建物の耐震対策は完了しており、非構造部材の落下防止対策も実施及び検討がなされていることを確認した。 ・施設・設備の老朽化に対する対応の状況について、キャンパスマスタープラン及び同追補版、及びインフラ長寿命化計画（個別施設計画）から確認した。 ・防犯カメラの設置等について、規程を定め設置運用されていることを確認した。 ・施設・設備のバリアフリー化について、キャンパスマスタープランユニバーサルデザインに基づき整備を推進しているとされていることを確認した。 ・その他施設・設備に法令上の要件が課されている場合の管理運営状況について別紙様式4-1-3_施設・設備の法令上の届出等一覧により確認した。			施設管理室
	4-1-4	教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること	基準を満たしている	・大学のインターネット通信環境として学術情報ネットワークであるSINET6に200Gbpsで接続されているため、安定かつ高速なネットワーク環境が整備されていることを確認した。また学内のほぼ全域で無線LANのWiFiが提供され、教職員及び学生が簡単にインターネットに接続可能な環境であることを確認した。 ・ネットワークのセキュリティ維持のため学内にファイアウォールが設置され、アプリケーション制御を含めた高度なセキュリティ設定が施されていることを確認した。また、サーバ機器については毎月、ネットワークについては年2回の定期メンテナンスによって常に最良の状態に保たれていることを確認した。 ・LMS、学務管理システム、シングルサインオンシステム等は全て仮想化され、本学の仮想化基盤上で稼働している。仮想化基盤は拡張性及び整備性に優れたハイパーコンバージドインフラストラクチャ（HCI）で構成され、高いパフォーマンスが安定的に提供されていることを確認した。			情報図書課
	4-1-5	大学組織の一部としての図書館において、教育研究に必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること	基準を満たしている	・図書館は、資料のとおり、延面積2,908㎡、閲覧座席数418席で、令和4年度の蔵書数は、図書181,615冊、学術雑誌8,406タイトル、電子ブック1,194タイトルである。本学学生・教職員は、学術認証フェデレーション（学認：GakuNin）を利用して、学外から電子ジャーナルやデータベースが利用できる。図書は、学生用図書取書方針に基づき取書・配架するとともに、蔵書点検を定期的実施し、整備を行っている。コロナ禍による制限が緩和されるに伴い図書貸出人数・冊数ともに増加しており、有効に活用されていることを確認した。			情報図書課
	4-1-6	自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること	基準を満たしている	・自主的学習環境は、資料のとおり図書館には一般閲覧室のほか、個室、グループ学習室、コミュニケーションホール等があり、学生の用途に応じた多様な学習形態に対応できる環境を整備している。また、情報処理センター端末室には使用可能なパソコンを設置し、授業時間外も学生に解放するなど、それぞれの環境を必要とする学生が有効に利用していることを確認した。			施設管理室 情報図書課

基準	認証評価番号	分析項目	点検結果	点検結果の根拠	基準を満たしていないと判断した事項の改善計画	改善計画実施状況	担当
基準 2	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること	4-2-1	学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること	基準を満たしている	・心身に不安がある学生への支援を目的として、カウンセラー2名（男性・女性各1名）による学生相談を毎週水曜日を除く13:00～17:00で実施している。また、カウンセラー1名（女性）が常勤で配置しており、学生相談時間以外でも学生相談を受けやすい環境を整備している。 併せて、学生支援課職員や保健管理センターによる個別相談を行っている。 ・キャリアアップ支援センターを設置し、進路・就職相談担当の教員やハローワークおよびジョブカフェの職員を配置し、学生からのキャリア相談に応じる体制を構築している。 ・北海道国立大学機構ハラスメントの防止等に関する規程第18条のとおり、構成員及び関係者のハラスメントに関する相談に対応するため、ハラスメント相談員を置いている。 相談員の構成は別紙（ハラスメント相談員一覧）のとおり		企画総務課 学生支援課
		4-2-2	学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること	基準を満たしている	・課外活動団体は55団体あり、部費として令和4年度は300万円をサークル連合に支給している。 課外活動施設設備も点検し、不具合がある場合は整備している。 また、貸出用の備品も各種取り揃えており、要望があった際の貸出の準備は整っている。		学生支援課
		4-2-3	留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	基準を満たしている	・新入生に対してガイダンスを実施するとともに、国際交流センターが日常的に生活支援を行っている。 ・大学独自の奨学金を支給、または各種団体奨学金への推薦を行うことにより、経済的な生活支援を行っている。 ・入学前の支援については、随時メール等により実施している。 ・可能な限り、卒業（修了）後の留学生の状況を把握している。		研究協力課
		4-2-4	障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	基準を満たしている	・特別な支援を行うことが必要な障がいのある学生に対して、障がい学生支援室において作成・配布しているパンフレットにより、支援体制を整備していることを確認している。		学生支援課
		4-2-5	学生に対する経済面での援助を行っていること	基準を満たしている	・入学金・授業料免除、奨学金（給付、貸与）、学生寄宿舎等本学の規則等に従い、過不足なく支援されている。 ・日本学生支援機構や各種奨学財団による奨学金について、大学ホームページや学内掲示板等、学生が目につく場所に掲示を行い周知を行っている。 学生宿舎については、入居希望学生から家計状況に関する資料を調し、家計の収入が低い学生を優先して居住できるように運営を行っている。		学生支援課
基準 3	学生受入方針が明確に定められていること	5-1-1	学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること	基準を満たしていない	・求める学生像、入学前に学習しておくことが期待される内容について記載されていることを確認した。 ・入学者選抜の基本方針については、各選抜において多角的な評価についての記載はあったが、受け入れる学生に求める学力の3要素を含め、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うかについて記載されていなかった。	令和6年度までにアドミッションポリシーを改定し、学力の3要素を含め、各選抜における評価方法の比重についての記載を追加する。	教務課
基準 4	学生の受入が適切に実施されていること	5-2-1	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること	基準を満たしている	・学生受入方針に沿った学生を確保するために、別紙様式5-2-1のとおり入試を行っている。 ・学生の受入は、学士課程、大学院課程それぞれについて「入学試験実施規程」等を定め、入学試験実施委員会、入学者選抜委員会、学力検査実施委員会、総合型選抜等実施委員会等を設置して実施していることを確認した。 ・面接を実施する入試については、「総合型選抜実施要領」等で面接の実施要領を定めていることを確認した。 ・実施体制の整備状況については、学長を本部長とする試験実施本部を設置して全学体制で実施していることを確認した。		教務課
		5-2-2	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学者選抜の改善に役立っていること	基準を満たしている	・入学者選抜を入学者受入方針に即して適切に実施するため、アドミッションセンターを置き、入学者選抜に関する調査、分析及び研究を行っていることを確認した。 ・入学者選抜に関する諸統計調査及び合格者に対するアンケートを実施し、入学者選抜の改善に役立っていることを確認した。		教務課

基準		認証評価番号	分析項目	点検結果	点検結果の根拠	基準を満たしていないと判断した事項の改善計画	改善計画実施状況	担当
基準 5	実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること	5-3-1	実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと	基準を満たしている	<ul style="list-style-type: none"> ・工学部及び大学院工学研究科（博士前期課程）においては、過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均が適正であることを確認した。 ・大学院工学研究科（博士後期課程）においては、過去5年間の入学定員に対する実入学者の割合の平均が1.33倍であり「大幅に超える」状況となっているが、令和5年度改組により入学定員を従来の8人から12人に変更しており、定員超過については改善される見込みであることを確認した。 			教務課